

令和6年度 事業計画について

地調協が新型コロナウイルス感染症以前に恒例として実施していた事業・各種行事を再開すべく、

- ・ 6月「測量の日記念」新宿地図展でのミニ講演会、会員社と共に各種地図展示などの実施
- ・ 9月「地図展2024金沢」への主催団体の一員としての活動
- ・ 地調協独自の“技術シンポジウム”、“地図カフェ”、“真夏のシンポジウム”などの実施
- ・ 機関誌『地図ジャーナル』190号(地調協設立50年記念号)、及び、191号の発行
- ・ web情報としての「地図ジャーナル Online」の充実化
- ・ 全国の“児童生徒の優秀地図作品展示”への後援、表彰状の交付
- ・ 日本地図学会定期大会時の地図展に地調協・会員社による地図展示等
- ・ 令和7年版地図カレンダーの学校教育関係への配布
- ・ その他

ここ数年の自粛体制を打破し、地調協と会員社の持てる力を十分に発揮するため展示・講演会等の事業を柱とした計画を立案しました。

I 会議関係

1. 通常総会 : 毎年5月に1回、その他必要がある場合に開催
2. 理事会 : 年2回(4月、10月の基本第三水曜日)、その他必要がある場合に開催
3. 業務執行理事会 8月を除く(必要な場合は開催)毎月第三水曜日を基本として開催
 - ・ 6月「測量の日記念」新宿地図展、9月「地図展2024金沢」における展示・講演会等
 - ・ “技術シンポジウム”、“地図カフェ”、“真夏のシンポジウム”など事業の充実化を図る
 - ・ 日本地図学会定期大会時の地図展示
 - ・ 『地図ジャーナル』、「地図ジャーナル Online」のより一層の充実化を図る
 - ・ 各地で開催される児童生徒の地図作品展後援など対外的行事の積極的な協力体制を構築
 - ・ 会員増募を柱とした地調協の魅力化・充実化に向けての構築
 - ・ その他

II 事業実施計画概要

従前からの地調協各種事業、対外的各種行事に可能な限り地調協と会員社が一丸となり積極的に参加・実施していく方向で以下の様な計画を立案しました。

1. 地調協としての事業(順不同)
 - ・ 技術シンポジウム、真夏のシンポジウム、ミニシンポジウム、ワークショップ、地図カフェ等の開催
 - ・ 各地の地図展、及び、会員社独自が開催する地図展・イベント等への積極的な協力
 - ・ 機関誌『地図ジャーナル』の発行と「地図ジャーナル Online」からの幅広い情報公開・広報活動
 - ・ 地調協ホームページ、“地調協広報メール”を通して地図関係等の情報提供、各種広報活動の実施
 - ・ 学校教育の一環としての地図の普及・啓発活動を目的とした情報提供・出前授業の実施
2. 対外的事業・委員会への取組(順不同)
 - ・ 国土地理院 測量行政懇談会 : 委員として参画
 - ・ 国土地理院 広報推進協議会 : 協議会メンバー、ワーキングメンバーとして参画
 - ・ 国土地理院 「測量の日」東京地区実行委員会 : 委員として参画し「くらしと測量・地図展」に出展
 - ・ 日本測量協会 「測量の日」実行委員会・幹事会 : 委員・幹事として参画
 - ・ 地図展推進協議会 「地図展」 : 主催団体の一員として参画、及び、地図展示等
 - ・ 日本地図学会定期大会時における地図展示の実施
 - ・ 全国児童生徒地図作品展連絡協議会 : 特別会員として地図表現を利用した社会教育の一環として

各地で開催されている「児童生徒の地図作品展」に対し地図教育の一層の向上を目指す支援事業としてこれを後援し表彰状(地調協会長賞)の交付を実施する

- ・ (一財)建設物価調査会、及び、(一財)経済調査会等へ地図調製に関する情報・資料の提供
- ・ 国、地方公共団体からの業務委託、また、諸活動への協力

Ⅲ 委員会別事業計画

1. 企画委員会

1) 研究・教育部会

事業名：技術シンポジウムの開催

目的・効果：会員共通の利益となる地図技術の普及・啓発を目的とし、地図への関心を高めるとともに、他業界とのネットワークを広げ、地図ビジネスを活性化することに寄与する。

作業期間：令和6年10月頃開催予定

事業内訳：時流を鑑みつつ、ニーズのある技術的課題をテーマにシンポジウム形式で実施する。

- ・ パネリスト4-5名程度の講演(さまざまな視点からの意見が得られるように業界の垣根を越える形で登壇者をコーディネートする)

- ・ 意見交換会

また、技術研修会を測量系CPD講座として、会員社外への募集を強化する。

同時配信を行い、広く視聴者を集める

事業名：地図カフェの開催

目的・効果：一般の方に地図へのより深い理解を促す事を目的に、気軽に参加できるサイエンスカフェ形式のイベントの開催。多くの人が関心を示しそうな地図関連のトピックをテーマとし、ゲストを招く形で実施することで、地図への正しい理解や業界の地位向上に寄与する。

作業期間：令和6年9月から12月頃開催予定。

事業内訳：地図関連のトピックをテーマとしてゲスト講師を招く形で実施

- ・ ゲスト講師による講演、会員からの事例紹介等

- ・ トークショー

イベントの内容について、事前告知および事後の広報活動を行う

同時配信を行い、広く視聴者を集める

事業名：真夏のシンポジウム

目的・効果：従来開催している技術シンポジウムはアウトリーチ的な要素も強いが、本シンポジウムは地図技術をより深掘りする形で、業界全体で地図調製のアイデンティティを考える会とする。開催は他のイベントが比較的薄い真夏に開催(会員・非会員を問わない)。

作業期間：令和6年7月1日～令和6年8月31日頃開催予定

事業内訳：会員各社が自分たちの技術やビジネスモデルを持ち寄って発表を行い、その後討論を実施する。

- ・ 会員と非会員で参加費を区分し、会員に対するメリットを明確にする。

- ・ 基本的に登壇者は会員とするが、場合によっては有識者をゲストコメンテーターとして招くことも視野に入れる。

また、技術研修会を測量系CPD講座(4P)として、会員社外への募集を強化する。

開催は社会状況を鑑みて検討し、場合によってはオンライン開催も視野に入れる。

2) 事業部会

事業名：経営(営業)研修会の開催

目的・効果：会員社を対象に業界価値向上(付加価値創造)を目的に、協会メンバーの商品やサービスの共有と連携を目的としたセミナーを開催する。地図調製技術及び利用に関する知識やスキルの向上を図り、協会メンバーの競争力を高める。

作業期間：令和6年10月頃開催予定

事業内訳：最新の技術進展や業界トレンドをモニタリングし協会メンバーに提供する。
協会メンバーの情報共有とネットワーキングを推進し連携を強化する。
業界全体の地図調製、利用に関する最新技術ベストプラクティスに対応する事で協会メンバーの競争力を高める。

2. 総務委員会

1) 経営部会

事業名：会員増募の施策立案

目的・効果：会費収入による協会の財政強化を図るため、勧誘ツールを作成することと、協会の動向を外部発信して認知度を高める。

作業期間：令和6年 上期

事業内訳：

- ・ 会員に提示できるサービス(メリット)を検討する。
- ・ 会員増募に向けた具体的なリーチ方法を検討する。
- ・ 会員勧誘に使うパンフレットを作成し配布する。

事業名：地調協諸規定の見直し

目的・効果：諸規定類を見直し現在の時勢に合わせるとともに、不要な規定を削除し不足している規定を追加する。

作業期間：令和6年 上期

事業内訳：

- ・ 現行規定類を現在の世情に合わせ更新する。
- ・ 規定自体の要不要を確認し、不足しているものは追加する。

事業名：地図調製における著作権処理の会員社への啓発セミナー
(WEB 開催・動画配信等も検討)開催

目的・効果：協会の見解として作り上げた著作権処理に関する考え方や方法論について、会員社に対して伝達・理解を深めてもらう場を設ける。

作業期間：令和6年 下期

事業内訳：

- ・ 著作権に纏わる事例を交えたパネルディスカッションをおこなう。
- ・ 地方会員を含めた情報交換を実現する。

2) 広報部会

事業名：機関誌『地図ジャーナル』191号の発行

目的・効果：年1回(新年号)のみとし、Online マガジンを発行する。尚、Online マガジン(仮称「地図ジャーナル Online」)準備費用と取材費用等関連業務費用が未定なので、予算案と同額を計上

作業期間：第190号を令和6年1月に発行予定

事業内訳：

- ・ 『地図ジャーナル』本誌は64頁前後で仕上げるが、創刊190号の節目を意識する。
- ・ Online マガジンは、仮称「地図ジャーナル Online」
- ・ 取材・製作費には、研究教育部会を中心に予定されるイベントへの旅費交通費を含む

事業名：インターネット環境を活用した情報提供

目的・効果：協会広報活動の一環として、本年度も引き続き協会公式ホームページを維持すると共に、経営部会の協力により、SNSの活用を図る。

機関誌『地図ジャーナル』の発行が年1回であり、その間の特にタイムリーなニュースを発信するのに効果を上げている。また、以前からの「研修会等の資料のダウンロード」サービスは、協会内外から好評を得ている。

作業期間：ホームページ更新は逐次実施

事業内訳：現ホームページは、不要なページを削除した後、引き続き事務局が承認したニュース・データを逐次更新する。

事業名：「測量の日」関連行事への参加

目的・効果：例年参加している「測量の日」関連行事「くらしと測量・地図」展(新宿)へ出展
多数の一般者の来場が見込まれるので、当協会の事業PRに資する効果が高い。

作業期間：令和6年6月5日(水)から7日(金)

事業内訳：
・「測量の日 東京地区実行委員会」には、本年度も引き続き広報部会長・広報副部長・事務局長の3名が出席
・同委員会主催による関東地区イベントとしての「くらしと測量・地図」展(新宿駅西口イベント広場)は、協会として参加し会員各社より広く展示品・配布品を募る。
・展示物は会員各社より募集するが、会場の構造上パネル化が必須のため、協会にて材料を用意し、パネルを製作する。
・必要に応じて会場の備品(机・椅子・追加パーテーション)を使用する。
・ミニ講演会の実施(計5回、各1時間程度)を想定し、その講師(ゲスト)への謝礼を講師謝礼金として計上
* 分担金：大型モニター×1・システムパネル×10・テーブル×10・丸椅子×10のレンタル料・インターネット接続料が含まれる予定額となっている。国土地理院関東地方測量部と設営業者の協議によって変更になる可能性がある。

以上